

## 快適な無線通信のための機能を強化したWi-Fi 6/6E対応ミドルレンジモデル ヤマハ無線LANアクセスポイント 『WLX322』 『WLX323』

～ 『WLX323』は6GHz帯通信に対応、2024年2月発売 ～

ヤマハ株式会社は、快適な無線通信のための機能を強化した無線 LAN アクセスポイント（以下、無線 AP）の新モデルとして、Wi-Fi 6 対応のデュアルバンドモデル『WLX322』と、Wi-Fi 6E 対応のトライバンドモデル『WLX323』を2024年2月に発売します。



Wi-Fi 6 対応『WLX322』（左下）、Wi-Fi 6E 対応『WLX323』（右上）

近年、無線 LAN の品質の重要性が多くの分野で高まっています。オフィスのフリーアドレス化を始め、学校や工場などでのタブレット利用が代表例で、円滑な運用のためには、途切れない安定した無線 LAN 環境が不可欠です。しかし、接続される無線端末数の増加に伴い、混雑しやすくなり、快適な無線 LAN 環境の維持が難しくなっています。

今回発売する『WLX322』『WLX323』は、それぞれ Wi-Fi 6/Wi-Fi 6E に対応した無線 AP のミドルレンジモデルです。両モデルとも、無線 AP の性能を損なわずに航空・気象レーダーによる 60 秒間の通信断を回避する「Fast DFS v2」に対応し、チャンネル数の多い 5GHz の W53/56 を安心して利用できます。『WLX323』は 6GHz の周波数帯を利用できるため、広帯域かつ DFS の影響を受けません。これらにより、電波の混雑や干渉を回避し、安定した通信を実現します。

また、移動しても遠くの無線 AP に接続し続ける無線端末に対し、近くの無線 AP へ切り替えを促す「適応型ローミングアシスト機能」に対応し、適切にローミングを行うことで無線 LAN 環境全体のパフォーマンスが改善します。さらに、無線 AP のアンテナ指向性を見直すことで、天井設置環境において広いエリアで強い電波を提供できるようになりました。これらにより、快適な通信を実現します。

加えて、両モデルとも、独自のクラウド型ネットワーク統合管理サービス「Yamaha Network Organizer (YNO)」にも対応し、複数拠点の無線 LAN の一括管理も行えます。また、本体内蔵コントローラーによるオンプレミス型の管理「クラスター管理機能」にも対応し、機器の交換や追加の際も、LAN に接続して電源を入れるだけで設定が完了するため、無線 LAN の運用管理が容易に行えます。

## <概要>

1. 新たに 6GHz に対応、Wi-Fi 6E へのスムーズな移行も可能（『WLX323』のみ）
2. 無線 AP の性能を落とさずに、航空・気象レーダーの影響を回避「Fast DFS v2」
3. 多数台の無線端末を収容可能
4. 移動しても快適な通信を実現「適応型ローミングアシスト機能」
5. 天井設置環境に適したアンテナの指向性で、広いエリアで強い電波を提供
6. 管理負荷を軽減するシンプルな無線 LAN 管理機能の継承

品名	品番	色	希望小売価格	発売時期
無線 LAN アクセスポイント	WLX323	ホワイト	115,500 円（税抜 105,000 円）	2024 年 2 月
無線 LAN アクセスポイント	WLX322	ホワイト	93,500 円（税抜 85,000 円）	2024 年 2 月

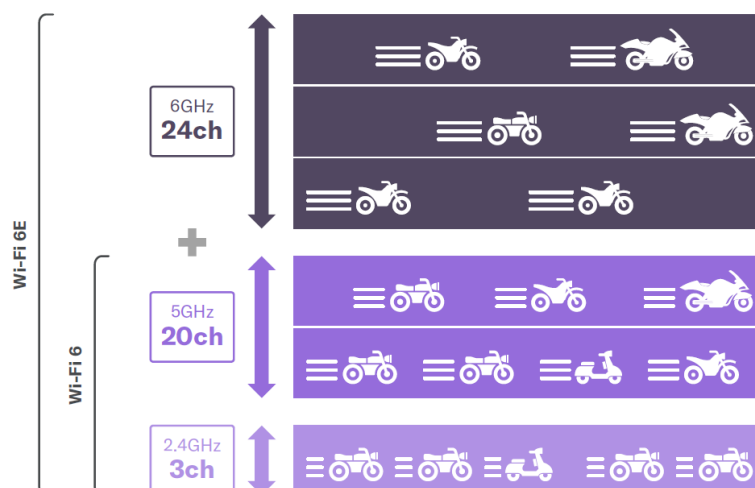
◎販売計画：合計 15,000 台/年

## <主な特長>

1. 新たに 6GHz に対応、Wi-Fi 6E へのスムーズな移行も可能（『WLX323』のみ）

### ●広帯域かつ DFS の影響を受けない 6GHz 帯を利用可能

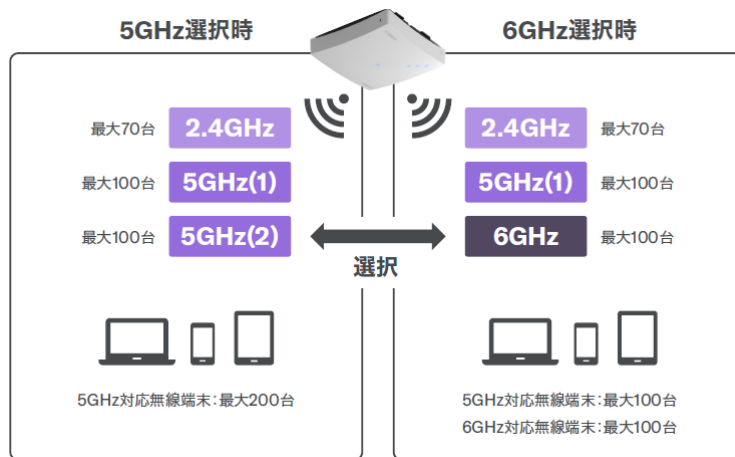
『WLX323』は Wi-Fi 6E に対応し、従来の 2.4GHz 帯と 5GHz 帯に加えて、新たに 6GHz 帯の周波数を利用できます。6GHz 帯は広い周波数帯域で、24ch と多くのチャンネルを利用できるため、高速で安定した通信が可能です。さらに、他の機器との干渉回避のための DFS（Dynamic Frequency Selection）機能の制約を受けないため、通信の安定性が向上します。これにより、電波干渉や混雑を回避した快適な通信を実現します。



### ●設置環境に合わせて 5GHz/6GHz 帯を選択でき、Wi-Fi 6E へのスムーズな移行が可能

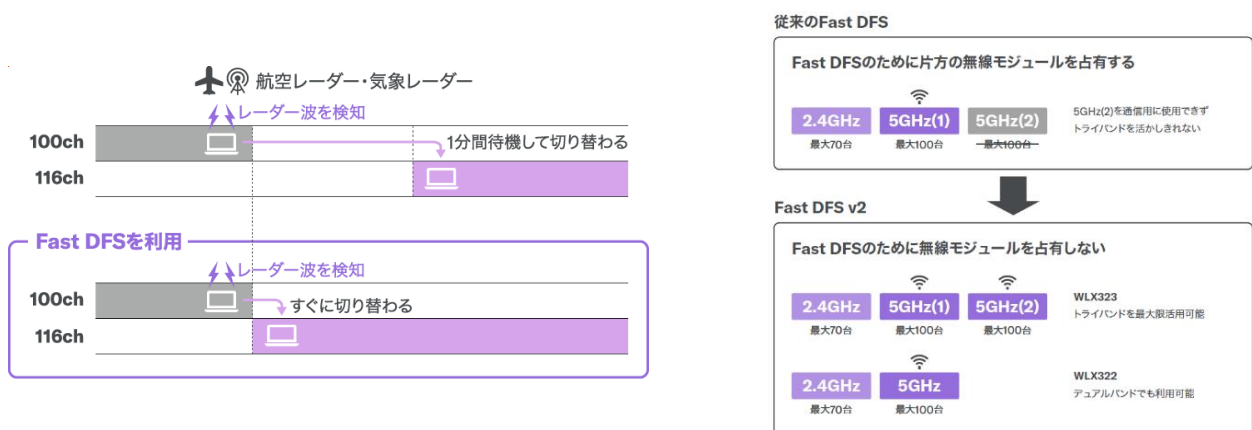
『WLX323』は、2.4GHz 帯・5GHz 帯・6GHz 帯を利用可能で、3つの無線 LAN モジュールを搭載したトライバンドに対応しています。3つ目の無線 LAN モジュールは、5GHz と 6GHz の 2つの周波数帯から一つの周波数帯を選択することができます。これにより、まずは対応端末数の多い 5GHz 帯を選択し、その後 6GHz 対応の無線端末の普及に合わせて、6GHz に切り替えるなど、設置環境に合わせて適切なタイミングで使用する周波数帯を選択することが可能です。

※6GHz 帯を選択した場合でも、5GHz 帯はもう一つの無線 LAN モジュールで利用することができます。



## 2. 無線 AP の性能を落とさずに、航空・気象レーダーの影響を回避「Fast DFS v2」

一般的な無線 AP は、5GHz 帯で運用している際に航空・気象レーダー波を検出すると、DFS 機能により、最大 60 秒間通信が切断されます。この通信切断を回避する従来の「Fast DFS」では、その機能を利用するために片方の無線 LAN モジュールが占有され通信用に使用できず、無線 AP の最大端末接続台数の性能を活かしきれませんでした。今回新たに対応する「Fast DFS v2」では、その機能を利用するために無線 LAN モジュールを占有しないため、『WLX323』ではトライバンドの接続端末台数を最大限活用できます。また、『WLX322』ではデュアルバンドにもかかわらず DFS の影響を回避できるようになりました。さらに、DFS の影響を避けるために使用可能なチャンネル数の少ない W52 を使用していた場合でも、本機能により、多くのチャンネルを利用できる W53/W56 を選択することが可能となり、安定かつ高速な通信を実現します。



## 3. 多数台の無線端末を収容可能

『WLX323』は、2.4GHz 帯で最大 70 台、5GHz 帯(1)で最大 100 台、5GHz 帯(2)/6GHz 帯で最大 100 台、合計で最大 270 台の無線端末を収容します。『WLX322』は、2.4GHz 帯で最大 70 台、5GHz 帯(1)で最大 100 台、合計で最大 170 台の無線端末を収容します。また、5GHz 帯において 4 本のアンテナを搭載し、複数の端末で同時に通信が可能な MU-MIMO に対応しています。たとえば、2 本のアンテナを搭載した MU-MIMO 対応無線端末であれば、同時に 2 台の通信・処理が可能で、快適な通信を実現します。

無線区間スループット	WLX323	5,671 Mbps
	WLX322	2,949 Mbps
	WLX222	1,775 Mbps
	WLX313	2,134 Mbps

規格上の理論値

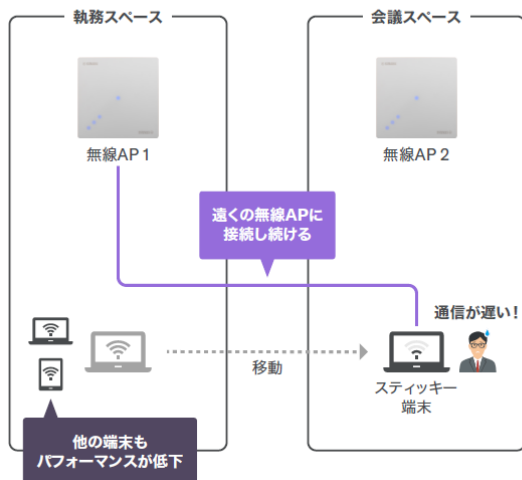
最大同時接続端末数	WLX323 (6GHz選択時)	2.4GHz 70台	5GHz 100台	6GHz 100台	270台
	WLX323 (5GHz選択時)	2.4GHz 70台	5GHz 200台		270台
	WLX322	2.4GHz 70台	5GHz 100台		170台
	WLX222	2.4GHz 70台	5GHz 70台		140台
	WLX313	2.4GHz 50台	5GHz 100台		150台

#### 4. 移動しても快適な通信を実現「適応型ローミングアシスト機能」

本機能は、移動した際など電波強度が弱いにも関わらず、遠くの無線 AP に接続し続けてローミングしない無線端末（スティッキー端末）に対し、近くの無線 AP へのローミングを促します。電波強度の弱い無線端末が無線 AP に接続していると、その無線端末に通信不具合が発生する恐れがあるだけでなく、同じ無線 AP に接続している他の無線端末のパフォーマンス低下にもつながります。本機能により適切にローミングを行うことで、無線 LAN 環境全体のパフォーマンスが改善され、快適な通信を維持することが可能です。たとえば、執務スペースで作業中に会議スペースに移動して遠隔会議を行う場合など、オフィスで頻繁な移動を必要とするワーキングスタイルにも適しています。

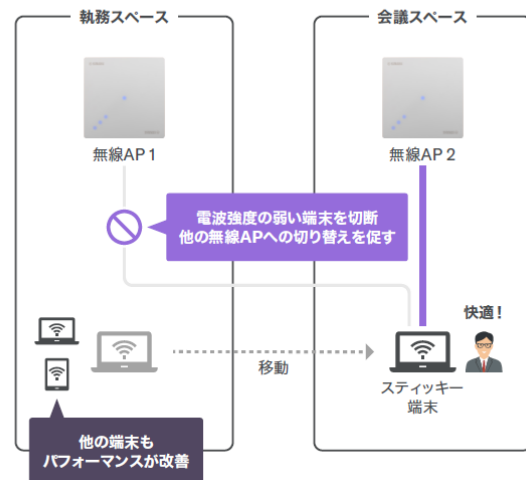
##### 適応型ローミングアシスト機能なし

移動しても遠くの無線APに接続し続けることで、電波強度が弱くなり、通信不具合が発生する  
さらに、他の端末もパフォーマンスが低下



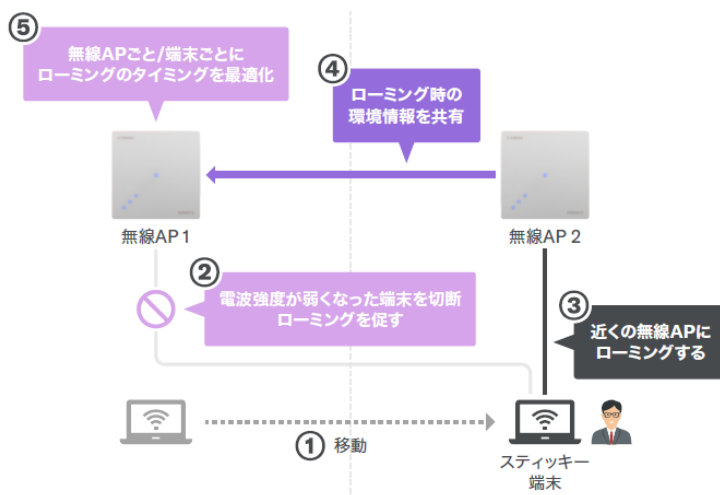
##### 適応型ローミングアシスト機能あり

電波強度に応じて、最適な無線APへの切り替えを促す  
パフォーマンスも十分確保でき、快適な通信を維持



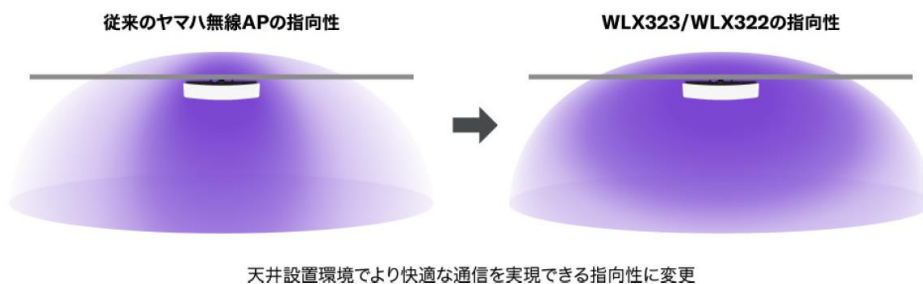
さらに、ローミング時には電波強度などの環境情報をクラスター内の無線APに共有することで、ローミングを発生させるタイミングを学習し、設置環境に合わせて自動的に最適な無線設定へ調整します。(特許出願済み)

### 適応型ローミングアシスト機能の仕組み



### 5. 天井設置環境に適したアンテナの指向性で、広いエリアで強い電波を提供

『WLX322』『WLX323』は、天井設置環境において適したアンテナの指向性に対応することで、広いエリアで強い電波を提供します。これまでのモデルで天井設置した際に、強い電波が届きにくかった場所にも届くようになり、快適な通信を実現します。



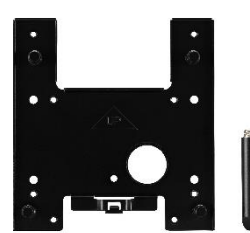
天井設置だけでなく、付属のマウントパネルやスタンドを利用することで、壁や卓上にも設置することができます。また、動作環境 50℃に対応しており、50℃高温動作時も通信速度等の性能が低下しません。学校や店舗、工場などの高温になりやすい場所でも安心してお使いいただけます。



左：天井設置、右：壁設置



左：卓上設置、右：スタンド（同梱）

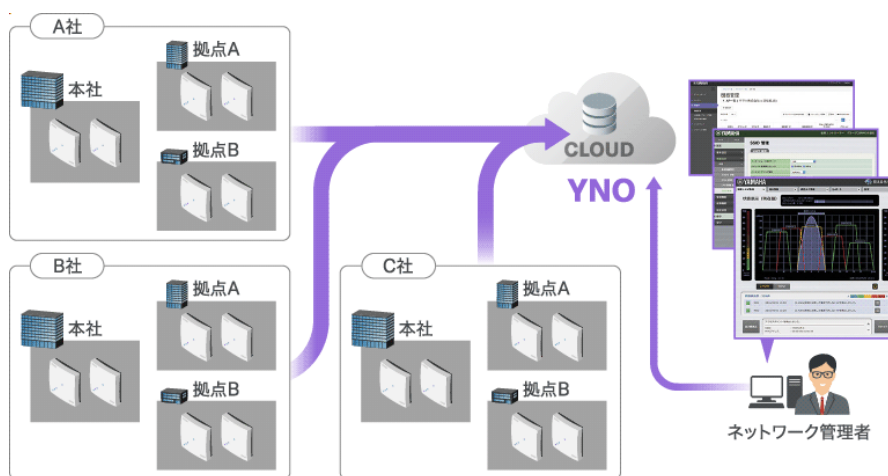


## 6. 管理負荷を軽減するシンプルな無線 LAN 管理機能の継承

『WLX322』『WLX323』は、「WLX シリーズ」で培ってきた多くの好評な機能を継承し、負荷を軽減する「シンプルな無線 LAN 管理」を実現します。

### ● YNO (Yamaha Network Organizer) で統合管理を実現

『WLX322』『WLX323』は、クラウド型管理サービス「YNO」に対応し、ネットワーク上にある「WLX シリーズ」の設定や監視、ファームウェアアップグレード、接続端末の監視など、遠隔からの一括管理を実現しています。最大 1 年間無料で使える「YNO」のライセンスが付属しているため、どなたでも「YNO」を利用可能です\*。  
※YNO ライセンスを購入すると、2 年目以降も「YNO」を継続して利用できます。また、初年度より複数年度のライセンス購入も可能です。「YNO」で管理する無線 AP は、1 台につき 1 ライセンスが必要です。



### ● 運用管理と保守作業を容易にする「クラスター型管理機能」

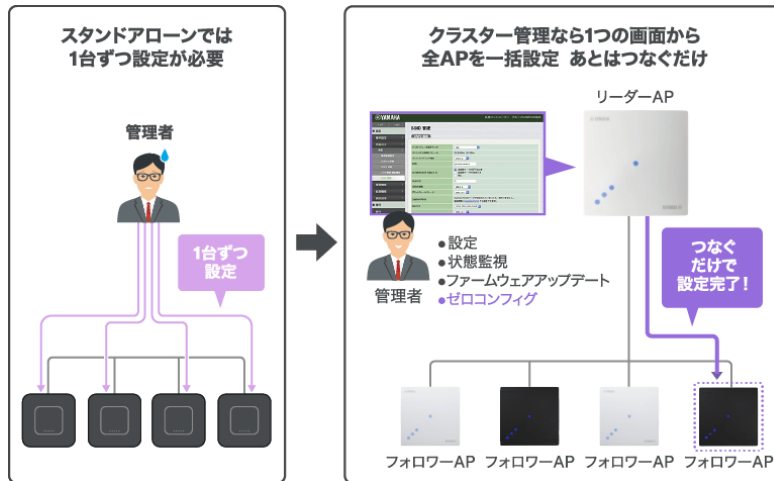
『WLX322』『WLX323』は、「WLX413」や「WLX222」と同様に、オンプレミス型の管理「クラスター管理機能」に対応しています。同じレイヤー 2 (L2) のネットワークに接続されている複数台の無線 AP を本体内蔵の「仮想コントローラー」により簡単に一元管理することができます。

新たに無線 AP を追加、交換したい場合は、追加する機器を同じレイヤー 2 のネットワークに接続するだけで、他の AP と共通の設定が「仮想コントローラー」から自動的に同期され、簡単に無線エリアの拡張や機器交換が行えます。また、無線チャンネルや SSID など AP 個別に設定したいケースでも、事前に「仮想コントローラー」に設定を入れておくと、AP 追加時に自動的に設定が同期されます。この機能により、設定作業と設置作業を別々のタイミングで実施でき、柔軟なネットワーク運用を実現します。

さらに、「クラスター管理機能」に対応している「WLX413」「WLX222」「WLX212」とは混在して一括管理できる\*ため、設置環境に合わせた柔軟な無線 LAN 環境の構築を簡単に実現します。「クラスター管理機能」で管理可能な機種の詳細は、技術情報ページをご確認ください。

※既存機種との混在環境は、2024 年 3 月リリース予定のファームウェアで対応予定





●障害解析に役立つ無線 LAN の「見える化」機能を搭載

『WLX322』『WLX323』は、クラウドとオンプレミスの両方で「無線 LAN 見える化ツール」が利用可能です。

「見える化」機能では周辺の無線 AP の無線状態や接続端末の情報などをグラフィカルに表示します。また、検出した値をヤマハが独自に策定した基準で評価し、その結果を分かりやすく色別に表示します。これにより、常に変化する無線 LAN の状態を視覚的に把握することができます。

さらに「見える化」機能には、検出した値が一定値を越えるとその時の無線 LAN の状態を自動保存するスナップショット機能があるため、「通信が遅い」、「つながらない」といった障害発生時の状態を後日確認することができ、これまで難しかった無線 LAN のトラブルシューティングにも役立ちます。

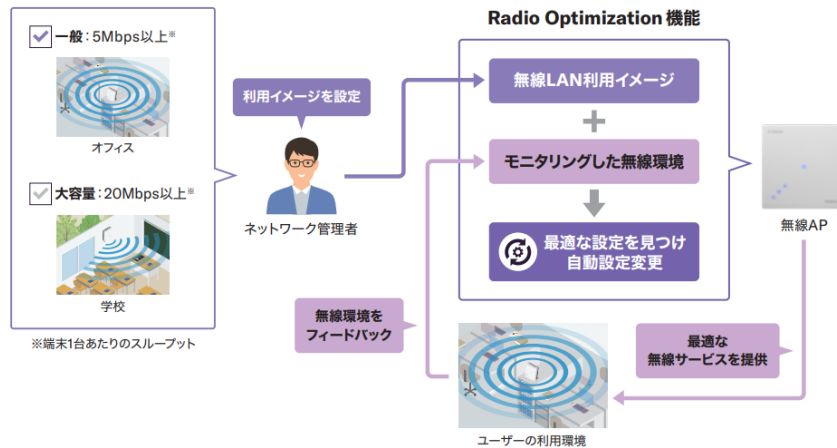


●トラブルを未然に防ぐ「Radio Optimization 機能」を搭載

『WLX322』『WLX323』は、無線環境を学習し最適化することでトラブルを未然に防ぐ「Radio Optimization 機能（以下、RO 機能）」（特許出願済み）を搭載しています。

RO 機能は、無線 AP 本体が周辺の無線環境をモニタリングしながら、ネットワーク管理者が想定する無線 LAN の利用イメージに近づくように、設定を無線環境に合わせて動的に変更し最適化する機能です。設定の最適化においては、当社がこれまでのお客様サポート業務で蓄積したトラブルシューティングノウハウを判断基準の一部として利用しています。

近年、業務における無線 LAN 環境の拡大とともに、「通信が途切れる」や「通信が遅い」などのトラブルも増加しています。従来、このようなトラブルを解消するためには、高度な専門知識を持つネットワークエンジニアが必要とされ、対応にも多くの時間を費やしていました。RO 機能を使用すれば、トラブルを未然に防ぎながら、高品質な無線 LAN 環境を構築・保持することが可能です。また、トラブル解消時に高度な専門知識を必要としないため、無線 LAN の運用管理にかかる人的・時間的コストの削減にもつながります。詳細な仕様については技術情報ページをご参考ください。



### ●内蔵 RADIUS サーバーを搭載

『WLX322』『WLX323』は、RADIUS サーバーを搭載し、最大 1000 件の端末を WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ認証\*が可能です。加えて認証局も搭載し、EAP-TLS 認証で使用する証明書を発行することで、本機単体で高度なセキュリティーシステムを構成します。また無線端末の認証だけでなく、ヤマハの各種スイッチのポート認証にも対応しています。

※EAP-PEAP (MSCHAPv2)、EAP-TLS、MAC アドレス/接続 SSID 制限対応

※YNO を使用している場合、EAP-TLS はご利用になれません。

※外部 RADIUS サーバーにも対応し、IEEE 802.1X で定義される各種の EAP 認証方式が利用可能です。

詳しくは技術情報ページをご確認ください。

## 7. LAN、WAN のギガ越えの第一歩を ALL ヤマハで実現

『WLX322』『WLX323』以外にも、これらの通信をボトルネックなく上位に転送する L2 PoE スイッチ「SWX222xP シリーズ」や 10 ギガアクセス VPN ルーター「RTX1300」など、LAN/WAN のギガ越えの第一歩に最適なラインアップが揃っています。



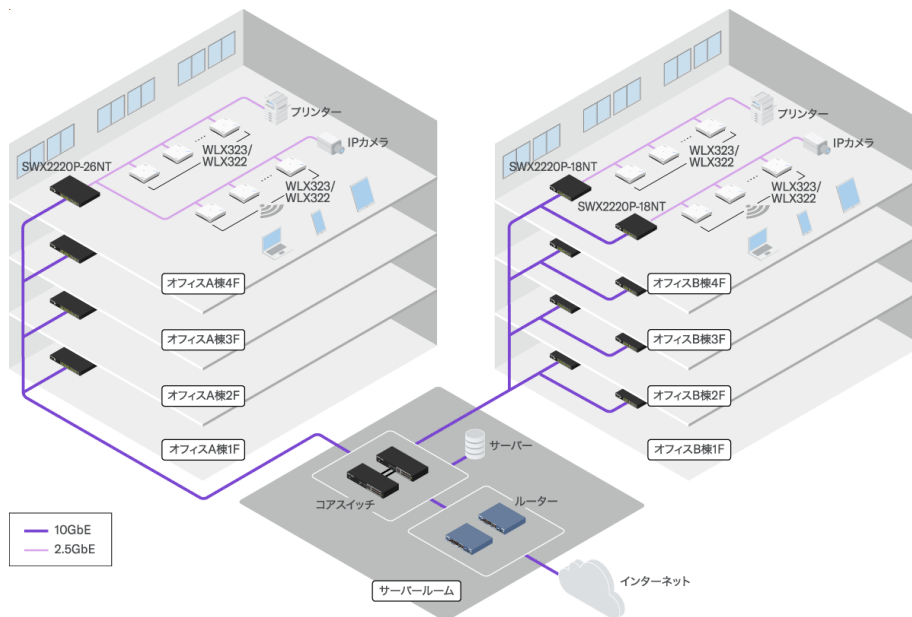
10 ギガアクセス VPN ルーター「RTX1300」は、ヤマハルーターとして初めて 10 ギガビット対応ポートを 2 個搭載し、LAN 側および WAN 側両方の高速化を実現します。また、「LAN マップ」機能を搭載し、LAN 内のネットワーク構成を分かりやすく表示することで、ネットワーク管理者の管理、運用の負担を軽減します。スマート L2 PoE スイッチ「SWX222xP シリーズ」は、2.5 ギガビットかつ PoE+に対応したポートを 8/16/24 個搭載しているため、複数台の『WLX322』『WLX323』の性能を最大限活かせることができます。さらに、アップリンクポートとして 10 ギガビット対応のポートを利用することで、複数の 2.5 ギガビット通信をボトルネックなく上位のネットワーク機器へ転送します。スタンダード L3 スイッチ「SWX3220 シリーズ」は、



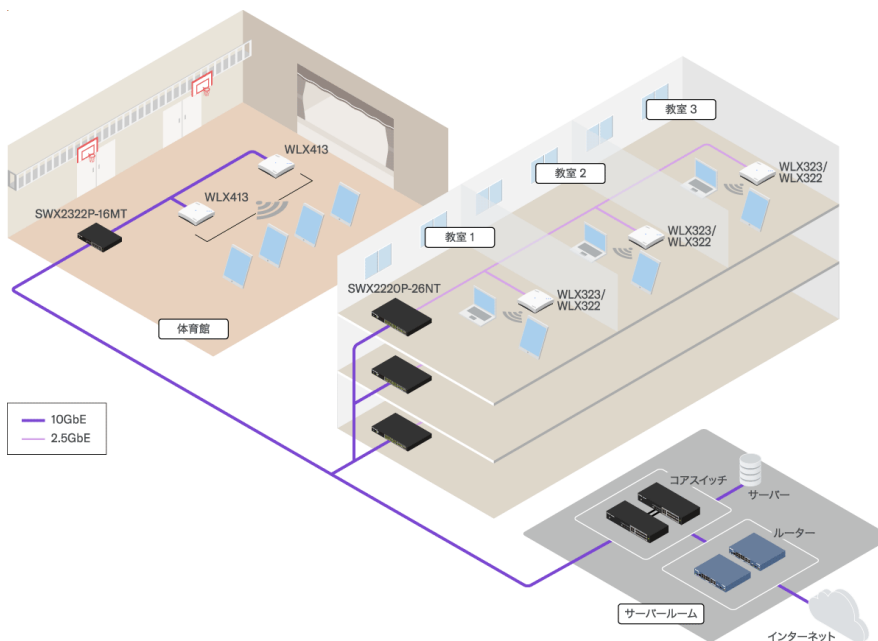
10 ギガビットまたは SFP+スロットに対応しており、複数のフロアスイッチ/ディストリビューションスイッチをコアスイッチとして収容することができます。

また、IEEE802.1X 認証に対応した「SWX222xP シリーズ」は、強固なネットワークセキュリティーを実現するだけでなく、「LLDP 自動設定機能」を使用することで、RADIUS サーバーと認証局を内蔵している『WLX322』、『WLX323』と接続するだけで RADIUS サーバー情報を自動的に登録することができ、複雑なセキュリティー設定を簡単に行えます。

## <ソリューション>



中規模オフィスネットワークの高速化



学校ネットワークの高速化

<関連オプション>

品名	品番	希望小売価格	発売時期
電源アダプター	YPS-12V3A	8,470 円 (税抜 7,700 円)	発売中
PoE インジェクター	YPS-PoE-AT	19,800 円 (税抜 18,000 円)	発売中
RJ-45 コンソールケーブル	YRC-RJ45C	5,830 円 (税抜 5,300 円)	発売中

<関連ソフトウェア製品>

品名	品番	発売時期
ネットワーク統合管理サービス	Yamaha Network Organizer (YNO)	発売中

※最大1年間無償で使える「YNO」のライセンス が付属

<主な仕様表>

品番		WLX323	WLX322
希望小売価格		115,500 円 (税抜 105,000 円)	93,500 円 (税抜 85,000 円)
JAN コード		49 57812 68579 5	49 57812 68580 1
インターフェース	LAN ポート	1 ポート (100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T, ストレート/クロス自動判別)	
	コンソールポート (設定用)	1 ポート (RJ-45) ※ <sup>3</sup>	
	USB ポート	-	
メモリー	Flash ROM	4GB eMMC+16MB (ファームウェア : 1 組, コンフィグ : 1 組)	
	RAM	1GB	
無線	アンテナ	2.4GHz/5GHz (1) 共用アンテナ 2 本、5GHz (1) アンテナ 2 本、5GHz (2) /6GHz 共用アンテナ 2 本、合計 6 本を本体に内蔵	2.4GHz/5GHz 共用アンテナ 2 本、5GHz アンテナ 2 本、合計 4 本を本体に内蔵
	MIMO 方式	5GHz (1) : MIMO (4x4, 4 ストリーム) MU-MIMO (最大 3 ユーザー)、 5GHz (2)/6GHz : MIMO (2x2, 2 ストリーム) MU-MIMO (最大 2 ユーザー)、 2.4GHz : MIMO (2x2, 2 ストリーム)	5GHz : MIMO (4x4, 4 ストリーム) MU-MIMO (最大 3 ユーザー)、 2.4GHz : MIMO (2x2, 2 ストリーム)
	2.4GHz 帯 無線 LAN 規格	IEEE 802.11b/g/n/ax (最大伝送速度 574Mbps)	
	5GHz 帯 無線 LAN 規格	IEEE 802.11a/n/ac/ax (最大伝送速度 2,402Mbps) 5GHz (1) のみ	IEEE 802.11a/n/ac/ax (最大伝送速度 2,402Mbps)
	6GHz 帯 無線 LAN 規格	IEEE 802.11ax (最大伝送速度 2,402Mbps)	-
	同時利用周波数帯	2.4GHz/5GHz/6GHz	2.4GHz/5GHz
	5GHz 対応周波数帯	W52/W53/W56 (144ch 対応)	
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード、WDS リピーターモード、WDS ブリッジモード	インフラストラクチャーモード、 WDS リピーターモード
	接続端末数	2.4GHz 帯 : 最大 70 台、5GHz 帯 (1) : 最大 100 台、5GHz 帯 (2) /6GHz 帯 : 最大 100 台、合計 270 台	2.4GHz 帯 : 最大 70 台、 5GHz 帯 : 最大 100 台、合計 170 台
	セキュリティー	認証方式	オープン、Enhanced Open、WPA/WPA2/WPA3 パーソナル、WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ
暗号化方式		CCMP (AES)、TKIP、192-bit セキュリティーモード※ <sup>4</sup>	

	マルチ SSID	6GHz 帯：最大 8 個、5GHz 帯：最大 8 個、2.4GHz 帯：最大 8 個、合計 16 個	5GHz 帯：最大 8 個、2.4GHz 帯：最大 8 個、合計 16 個
	セキュリティー機能	AP 間プライバシーセパレーター、Any 接続拒否、MAC アドレスフィルタリング (1VAP あたり最大 256 件)、パスワード設定、接続台数制限、送信出力調整機能、ステルス SSID、MAC 認証機能	
LAN	タグ VLAN (IEEE 802.1Q)	○	
	LAN 機能	-	
管理/ 設定	管理プロトコル	SNMP (v1/v2c/v3)	
	ファームウェアの更新	TFTP からのリビジョンアップ、Web GUI からの HTTP またはローカルファイル指定によるリビジョンアップ/リビジョンダウン、YNO からのリビジョンアップ	
	内蔵 RADIUS サーバー	最大 1,000 件、EAP-PEAP (MSCHAPv2)、EAP-TLS、MAC アドレス/接続 SSID 制限対応	
	外部 RADIUS サーバー対応 (IEEE 802.1X EAP 認証)	EAP-TLS、EAP-TTLS/MSCHAPv2、PEAPv0/EAP-MSCHAPv2、PEAPv1/EAP-GTC、EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-AKA Prime、EAP-FAST	
	クライアント証明書の発行	○ (※オンプレミス動作時のみ)	
	ロギング機能	メモリーに蓄積 (50,000 件)、SYSLOG での出力	
	設定手段	コンソール、TELNET、Web 設定画面、Web 設定画面 (HTTP) /TFTP によるダウンロード /アップロード、ヤマハルーターの Web GUI/コマンドによるバックアップ、YNO	
	GUI の推奨ブラウザ <sup>※1</sup>	Windows : Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox macOS : Safari iPadOS : Safari	
	機能	QoS (WMM[Wi-Fi Multimedia])、DHCP クライアント、DHCP サーバー、メール通知機能、NTP クライアント	
	L2MS エージェント <sup>※2</sup>	L2MS マネージャー <sup>※5</sup> の Web GUI/コマンドによる設定/状態表示/管理、ネットワーク構成表示、コンフィグの保存/復元、ゼロコンフィグ機能	
	拡張機能	Radio Optimization 機能、無線の見える化ツール、クラウド型管理サービス (YNO) 対応 (最大 1 年の無償ライセンス付き)、クラスター管理機能 (管理可能台数は最大 128 台、スタンドアロンモード対応) <sup>※6</sup> 、範囲指定型自動チャンネル選択機能、自動チャンネル変更機能、電波出力自動調整機能、LAN-無線 連動機能、無線通信平滑機能 (エアタイム イコライザー)、バンドステアリング機能、接続台数自動分散 (ロードバランス) 機能、災害時モード切替機能、キャプティブポータル機能、かんたん接続 QR コード生成機能、VAP グループ機能、Fast DFSv2 機能、適応型ローミングアシスト機能	
ハード ウェア	状態表示ランプ	天面 : 4 (POWER, LAN, YNO, WLAN) ※消灯機能付き	
	動作環境条件	周囲温度 0~50℃, 周囲湿度 15~80% (結露しないこと)	
	最大消費電力	19W	16W
	最大消費電流	電源アダプター : AC100V (50/60Hz) 1.4A <sup>※7</sup> 、PoE (IEEE 802.3at 準拠) : DC36~57V 0.34A	電源アダプター : AC100V (50/60Hz) 1.1A <sup>※7</sup> 、PoE (IEEE 802.3at 準拠) : DC36~57V 0.28A
	発熱量	68.4kJ/h	57.6kJ/h
	筐体	上面 : プラスチック、底面 : アルミダイキャスト、ファンレス	
	電波障害規格, 環境負荷物質管理	VCCI クラス A、RoHS 対応	
	外形寸法	210 (W) x 53 (H) x 210 (D) mm (突起部含まず) ※壁掛け, 天井設置, 卓上スタンド設置, VESA 規格スタンド取付けが可能	
	質量	本体 1.2kg (付属品含まず)、マウントパネル 130g、スタンド 15g、ケーブルチューブ 3g、電源アダプター (別売) 300g	
	付属品	はじめにお読みください (保証書含)、マウントパネル、スタンド (ネジ 1 本含む)、ケーブルチューブ	

	オプション	電源アダプター (YPS-12V3A) 、PoE インジェクター (YPS-PoE-AT) , RJ-45 コンソールケーブル (YRC-RJ45C)	
	デフォルト IP アドレス	DHCP 自動取得 ※取得失敗時は 192.168.100.240/24	
仕様対象ファームウェア		Rev. 25. 01. 02 <sup>※8</sup>	Rev. 25. 00. 02 <sup>※8</sup>

※1: ブラウザーのバージョンは、最新バージョンにてご利用いただくことを推奨します。また、最新の Web ブラウザー対応状況は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。

※2: L2MS (Layer2 Management Service) は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2 レベルで管理する機能です。

※3: 別売りの RJ-45 コンソールケーブル「YRC-RJ45C」をご使用ください。

※4: WPA3 エンタープライズ使用時のオプションとなります。

※5: L2MS マネージャーに対応しているルーター/ファイアウォール/スイッチが別途必要です。L2MS マネージャー対応機種は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。

※6: クラスター管理機能は、同じ L2 ネットワークに接続されている複数台の無線 LAN アクセスポイントを一元管理するためのシステムです。詳細は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。

※7: 必ず別売りの電源アダプター「YPS-12V3A」をご使用ください。

※8: 最新プログラムは、技術情報 (RTpro) サイト上に公開しております。

## < 詳細情報 >

### 製品サイト

『WLX323』 : [https://network.yamaha.com/products/wireless\\_lan/wlx323/index](https://network.yamaha.com/products/wireless_lan/wlx323/index)

『WLX322』 : [https://network.yamaha.com/products/wireless\\_lan/wlx322/index](https://network.yamaha.com/products/wireless_lan/wlx322/index)

### 技術情報ページ

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

\* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

#### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当: 佐藤 圭 TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/) (問い合わせや画像ダウンロードが可能です)

#### ■ 一般の方のお問い合わせ先

ヤマハネットワーク製品お客様相談センター TEL. 03-5651-1330

ウェブサイト <https://network.yamaha.com/>

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/> (技術情報ページ)